

図書館だより

8

月号

北名古屋市図書館
2025.8 発行

10月から!

今月の特集

こわい本

怖いのに、気になって手で目を覆いつつも指の隙間から見てしまう不思議な世界。怪奇現象や怪談など、日常では味わえない不思議な世界のドキドキ感を楽しんでみませんか。今月は、暑い夏に背筋がひんやりとする本をご紹介します。

一般書



「おばけ」と「ことば」の
あやしいはなし
京極夏彦／著
文藝春秋

「水木しげる作品」がウケ続けているわけ、柳田國男が「遠野物語」で描いた「河童」「山人」「幽霊」「妖怪」の怖さ。全国各地で行われた小説家・京極夏彦の講演を集成。



マンガ日本の古典32怪談
ラフカディオ・ハーン／原作
つのだじろう／著
中央公論新社

「雪おんな」「ろくろ首」「虫の研究」など小泉八雲が掘り起こし、生き返らせた民間伝承の数々を、恐怖漫画家・つのだじろうが妖しく活写する怪異短篇集。



山怪 朱
田中康弘／著
山と溪谷社

東京近郊で大人気の高尾山。茶店で働く店員が後片付けをしていると、どこからともなく声が…。多くの人たちから聞いた「山の怪」の話をまとめた現代版「遠野物語」。

児童書



さいごのゆうれい
斉藤倫／著
西村ツチカ／画
福音館書店

夏休み、田舎のおばあちゃんの家へ預けられた小学5年生のぼくは、お盆の日に小さなゆうれいと出会う。ゆうれいを救い、世界を取り戻すため、ゆうれいと過ごした夏の4日間。



ぼくの町の妖怪
野泉マヤ／作
TAKA／絵
国土社

ワクワクで胸が高鳴る物語やゾクッと背筋がこおりつく物語など、妖怪調査にまつわるストーリーを収めた本格児童文学短編集。「夜泣き石」「河童」など全6編を収録。



それよりこわい
村中李衣・近藤薫美子／作
佼成出版社

ドアが開かないエレベーター、病院の屋上。学校の帰り道に2人の男の子が「こわいもの」を言い合っていたら想像が止まらなくなって…。想像力を刺激する絵本。

お知らせ 新図書利用券のデザイン決定

7月に実施しました図書利用券デザイン投票の結果、新図書利用券のデザインが決定しました。ご協力ありがとうございました。



日	月	火	水	木	金	土
7/27	28 休館日	29	30	31 休館日	1	2 どう日の図書館
3	4 休館日	5	6	7	8	9 どう日の図書館
10	11	12 休館日	13	14	15	16 どう日の図書館
17 サンデーロードショー	18 休館日	19	20	21	22	23 どう日の図書館
24	25 休館日	26	27	28	29	30
31	9/1 休館日	2 休館日	3			6

どう日の図書館 1階お話しコーナー / 午前11時から

おはなし会

2日(土) たからばこ
9日(土) チームわたあめ(図書館員)
16日(土) 朗読クラブ いっぱ
23日(土) おはなしグループ コキュボット

サンデーロードショー 2階視聴覚室 / 午後1時30分から

「スポンジ・ボブ 海のみんが世界を救woo!」
17日(日) 子ども向けアニメ 92分

スポンジ・ボブが働く「カニカーニ」はビキニタウンで愛され続けるバーガーショップ。ある日、「カニカーニ」の秘密のレシピが世界征服を企てる海賊バーガー・ピアードによって盗まれてしまう。スポンジ・ボブと仲間たちは力を合わせてレシピを取り戻そうとするが…。